

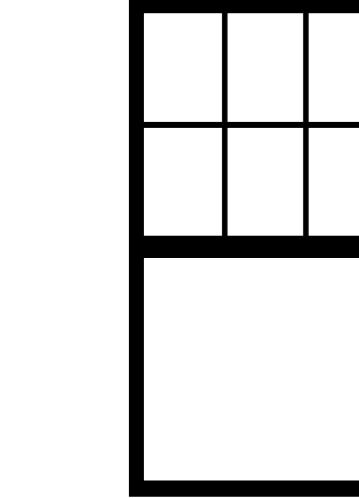


UENOJYUKEN | ANDERSEN Catalog Book



UenoJyukan
ANDERSEN Catalog Book

UENO JYUKEN



UENO JYUKEN

Andersen Catalog Book

- 4 Andersen History
- 5 Uenojuken History with Andersen
- 6 Interview 1 - 技拓株式会社
- 12 Interview 2 - HUGHOME
- 18 Interview 3 - HAPTIC HOME
- 24 アンダーセンの木製サッシ
- 25 - ガラス
- 26 - デザイン
- 27 - 連段窓
- 28 - 格子
- 29 - 開閉方法 / シリーズ紹介
- 30 400シリーズ ケースメント(縦すべり出し窓)・ピクチャー
- 32 400シリーズ オーニング(突き出し窓)・ピクチャー
- 34 400シリーズ ティルトウォッシュダブルハング(上げ下げ窓)
- 36 200シリーズ ティルトウォッシュダブルハング(上げ下げ窓)
- 38 400シリーズ フレンチウッドグライディングパーティオドア(片引きドア)
- 40 200シリーズ ナローライングライディングパーティオドア(片引きドア)
- 42 200シリーズ パーマシールドグライディングパーティオドア(片引きドア)
- 44 400シリーズ グライディングウィンドウ(引き違い窓)
- 46 Aシリーズ フレンチウッドアウトスイングパーティオドア(外開きドア)
- 48 Aシリーズ フォールディングアウトスイングパーティオドア(折りたたみドア)
- 50 スペシャリティウィンドウ(特注サイズ、円形窓、半円形窓)
- 52 400シリーズ ボウウィンドウ(弓形出窓)・ベイウィンドウ(台形出窓)
- 53 400シリーズ アートガラス
- 54 ハードウェア
- 56 長く愛着をもって使い続けられる木製サッシ(メンテナンス)
- 58 施工事例 - 住宅
- 66 施工事例 - 商業施設
- 74 アンダーセン シリーズ比較
- 75 データ表







Andersen History

アンダーセンは1903年創業、アメリカ・ミネソタ州に本社を持つ、北米シェアNO.1を誇る木製サッシメーカーです。木製サッシを既製品化することでコストパフォーマンスにも優れ、安定した価格で供給することを可能にしています。年間700万窓を生産、世界20拠点で高品質な木製サッシを供給し続けています。

TIME LINE

- 1874 ハンスアンダーセン氏が、アメリカ合衆国ミネソタ州スプリングバレーで木材業を始める
- 1903 アンダーセン木材会社として創業
- 1905 ハンスアンダーセン氏が、アメリカで初めて窓枠を既製品化し販売
- 1913 アンダーセンファミリーがミネソタ州スタイルウォーターで、新たに65名のスタッフを雇い事業を拡張
- 1929 アンダーセン社が、世界で最も多くの窓枠製造をした会社としてランキングされる
社名をアンダーセン木材会社からアンダーセン窓枠会社へ変更

- 1930 ケースメントウィンドウの原型を制作
- 1934 初めて完全なガラス入木製窓を制作
- 1937 社名をアンダーセンコーポレーションへ変更
- 1943 第二次世界大戦中、最初の女性スタッフを雇う
- 1961 最初のグライディングパティオドアを販売
- 1966 パーマシールド加工の窓を生産開始
- 1983 アルゴンガス入Low-Eガラスを開発・世界で初めて標準化
- 1991 木材と樹脂を混合したファイプレックス素材を発表
ペターリビング断熱型S型認定
- 1992 DCダブルハンギング販売
- 1994 DCダブルハンギングに代わりTWダブルハンギング販売
- 1999 ミネソタ州で、交換専用窓としてファイプレックス製窓を使った「リニューアル事業」開始
- 2000 200シリーズ販売開始
- 2005 イーグル社(木製窓メーカー)買収。後のEシリーズ
- 2009 Aシリーズ販売
ストームウォッチャーミネートガラス開発
- 2011 Low-E4ガラス発表

Uenojyukan History with Andersen

1990年に上野住宅建材とアンダーセンは正規取扱代理店契約を結びました。それまで日本で一般的だった和の住宅スタイルが、少しずつ洋風へシフトし始めた頃でした。上野住宅建材は、性能やデザイン性の優れた欧米製品を通じて、豊かなくらし・文化を日本へ紹介したい、という想いから、高気密・高断熱の住宅に見合う高性能木製サッシの取扱いを始めました。それから30年が経ち、日本の住宅スタイルも変化してきました。時代を超えて、お客様のニーズに応え続けることができるアンダーセンを私たちは誇りに思っています。

TIME LINE

- 1989 AW社に初訪問
- 1990 正規取扱代理店契約締結
アンダーセンの商品初入荷
日本語カタログ・性能パンフレット完成
- 1992 「明日の住まい店」初出展 @新潟振興センター
- 1993 「グッドリビングショー」初出展 @東京国際見本市会場
- 1995 AW社CEOが初来日、上野住宅建材へ来社
- 1997 AW社による日本語カタログ完全版完成
- 1998 上野住宅建材新社屋完成(アンダーセン全窓使用)
- 2006 「ジャパンホームショー2006」初出展 @東京ビッグサイト
- 2011 モデルハウスR2000を「R2000+」として断熱リフォーム(アンダーセンAシリーズ使用)
- 2012 AW社と協力して東日本震災復興支援・女川仮設店舗に230セットを提供
- 2016 JIS断熱性能規格取得(建材試験センター)
- 2018 Amazonで部品販売開始
- 2021 日本語カタログ最新版完成



ANDERSEN
Windows & Doors
INTERVIEW

GITAKU

Interview

技拓 白鳥さん × お施主様 立川さん インタビュー

これからの家は、住みやすさがメインテーマ。
アンダーセンは気密性が高く、とても安心できます。

——技拓さんの家づくりの特徴を教えてください。

白鳥：使いやすい、落ち着けるムードがある、家に帰ってくるとネクタイをちょっと緩めてリラックスしてカジュアルなムードになれる、そういうところをすごく気をつけていますね。壁のドライウォールは現場で手塗りだし、枠まわりも手塗りだし。床に無垢を使って、天井に米杉を貼るとかっていうのもちょくちょくやっています。今回、立川さんのお宅は、そもそもどういう家具をお持ちなのか、ディスプレイを考えたときに、リッチなよい家具をお持ちで、ラグも敷いてある。そしたらあんまり天井にパネルを貼ったりするよりも、壁を単色の白いドライウォールにして、家具を主役にするのがいいのかなと思いました。これは実は、パッケージとして考えていたプランで、ちょうどピッタリだなと思いましたね。

——立川さんはなぜ技拓さんで家を建てられたのですか？

立川：「湘南らしい家」ということで、大磯に住んでいる友人に紹介してもらつて最初にオープンハウスに伺いました。そのときに白鳥ゆり子社長の「ちびスケ」というお宅を見せてもらったんですが、非常にこじんまりしていて、洒落っていて、無駄のない使いやすい感じだなという印象でした。でも「ちびスケ」はちょっと狭いかなと思って、どうすればいいかなとお話をしているうちに、いいプランを考えているので第一号をうちに当てはめできないかということです

ね。それで土地探しから一緒に回っていただいて、この場所を見つけました。大磯は静かで海風もくるし、山もあるし、地域が気に入っています。横浜にある家はアメリカのスタイルでそこに20年住んでいたんですけど、うちはもう夫婦ふたりと犬2匹なので、そろそろ都会を離れて、と。ここだったら子供と孫たちが来たとき、海や山もあって楽しいかなと思って住むことにしました。

白鳥：この家の基本的なアイディアは、切妻屋根の平家なのですが、大屋根をかけてロフト部分を作り出すことによって部屋数を増やすことができます。設計面ではそういうところの面白さがありますね。昨今は大雨や大風があるので、水はできるだけ溜めないようにしようと。そこで屋根に溜まった水はストレートで外に出すという日本の住宅の従来の考え方をきっちり守って作っています。災害には非常に強い家です。これから家の「住みやすさ」というのがメインテーマですけれど、環境特性を十分に視野に入れた家にしないと長持ちしなくなってしまうと思います。

——気候変動の予測ができない時代になりましたね。

白鳥：そういう意味ではアンダーセンは気密性・防水性が高いし、正しい使い方さえすればウェザーストリップなどがきちんと機能して、ウインドウとしては災害に対してはとても安心ですよね。



GITAKU

技拓 株式会社
GITAKU

〒248-0031
神奈川県鎌倉市鎌倉山 3-16-16
TEL : 0467-38-1628
FAX : 0467-38-1629
e-mail: office@gitaku.co.jp

白鳥和正
Kazumasa Shiratori

技拓株式会社創業者、現会長。1974年日本にて、ツーバイフォー工法が認可を受けた同時に会社を創業し、日本のツーバイフォー工法の草分け的存在となる。高度成長期に、世の中が新建材にシフトしていくなかで、自然に溶け込む家づくりと、経年の変化を劣化ではなく趣と捉え、外壁にレッドシダーを使用することで、湘南の街並みに溶け込む家づくりを目指した。意匠は世代を超えて引き継がれるよう、なるべくシンプルにし、質実剛健な躯体をつくることでメンテナンスを減らし、自然素材のよさを引き立てることで100年もつ家を目指し現在も取り組んでいる。現在は、経営を娘に任せ、日本の暮らしをより豊かにするプランに思いをはせ、日々コンセプトを考え続けている。



—住み心地はいかがですか？

立川：馴染みやすくリラックスして、使いやすいと思いますね。僕は災害のことを考えて低い所は嫌だったんです。あとは水捌けが良くて、風が通り抜けるというのが大事でした。それは気の流れと通じるところがありますよね。ここはアンダーセンの大きな窓がついているので良いですよ。実は山の家にもアンダーセンを使っているんです。

白鳥：当邸は間柱の高さを2,660mmにして、一般的な2×4工法よりも高くしています。それで300mm吊り天井で下ろしています。だからケースメントの納まりを天井にどんと持つていけます。そうすると、上下の位置がかなり自由に窓をつけられて、座っていて空が見えるチャンスが多くなるわけです。2,336mmのスタートだと、下がり壁が約300mm出てくるので、今のブラインドがある位置の下くらいから窓がくるので、目暗にされちゃう。ここだと座りながら空が眺められるんですよ。

—季節の良いときは窓を開けていらっしゃいますか？

立川：ええ。自然が一番。



白鳥：大磯なら開けたくなりますよね。この辺は海風と、秋口になると北東の風が吹いてくるんですよ。11月くらいはいい風なんですね。

立川：玄関前のデッキが有効で、山からの風が来ますね。夕方はあそこでけっこ涼んでいます。

—外壁(レッドシダー)とアンダーセンのコンビネーションについてはいかがですか？

白鳥：今まで、外に窓のモールディングは回さなかったのね。アンダーセンの白だけでも十分特徴になるから。でも当邸はチャネルサイディングを貼っています。それに色をつけることをおすすめしたところ、立川さんにご賛同いただき、塗りました。今まででは外壁側の窓枠を細くすることで、見付寸法をシャープに見せるのを自慢するような時代が長かったんだけど、今回はモールディングで窓枠をハッキリ見せたら面白いんじゃないかなって。

—敢えてということですね？

白鳥：もちろんメンテナンスの問題とか色々あるわけですよ。コーナーピードも回さなきゃならない。中に入っている防水紙(タイベック

—軽井沢のお宅とこちらは、同じアンダーセンを使っていても、意匠的に違うと思うのですが。

立川：この家は、技拓さんすべておまかせで。大きい窓は僕らの発想ではなかったけど、明るくて開放的でいいなと。うちはずっと雨戸のある生活はしていないから、それが実に生活しやすい。

白鳥：湘南地方で仕事させてもらっているとね、海風、北東の風が吹くから窓を開けっぱなしにすることが多くて。それにプラスして、明るい土地だから、その明るさを優先しようとすると窓だらけになっちゃう(笑)。でも窓だらけにすると、リビングにいても落ち着かないし、家具が置けないっていう。また、アウトドアームのある家はそれなりに湘南らしさを確保できるんじゃないかな。当邸はその辺がテーマになっています。なるべく窓だらけはやめよう、その代わり、なるべくひとつの窓の背を高く。本当は床まで持つていきたいんだけど、それは冒険しすぎかなって。

—技拓さんは地域性を大事にした家づくりをやってらっしゃるということですね。



白鳥：僕らは湘南地方で育って、湘南地方で仕事させてもらっているので、明るい家っていうのは大好きなんですよ。ただね、あまりにもウインドウの数を多くしすぎて落ち着かない、失敗しているのが一軒あるんですよ(笑)。西日がガンガン入ってきてね。もちろん西側にピューがあるからそこを開けているんだけどね。だからウインドウっていうのはものすごく大切な要素なんですね。

—家づくりにおいて窓はどういう存在ですか？

白鳥：明かりとりと、風通し。窓の場合、特に気をつけなければいけないことは、例えお隣のお庭の借景であったとしても、道路の街路樹の緑がちゃんと見えるとか、部屋の中から景色が見えるように、位置決めをすること。そういう心がけはしておく必要があるのかなと思います。それと、本当は窓を小さくしたほうがパッシブになるのかもしれないけど、断熱サッシなので、開口部を大きくしても断熱効果はあるのではないかと。せっかく湘南地方に住むのだから、小窓だけで暮らすっていうのもね。

立川：白鳥会長は最初ダブルハングがいいんじゃないかとおっしゃっていましたよね？

白鳥：ダブルハングは軒に引っかかるとかいうことがないから、位置を考えなくて良いんですね。上下運動なので自由につけることができる。風通しもいいしね。

立川：ただ、ダブルハングは掃除のしにくさっていうのがあるんだよね。それで嫌だったんです。前の横浜の家は全部ダブルハングだったので大変でした。アメリカ人は力があるからいいけどね(笑)。だから開いちゃうほうが掃除は楽だと思う。

アンダーセンは木製サッシであるものの、多様性があるっていうのが一番なんじゃないかな。



PHOTO

GITAKU

設計施工：技拓株式会社



HUGHOME

**木の素材感と性能の高さを兼ね備えた家を作れる。
アンダーセンを望むお施主さんが増えてきた。**

Interview
HUGHOME 高津さん × お施主様 宍倉さん インタビュー

— HUGHOMEさんと宍倉さんの出会い、家を建てるにした
理由をお聞かせ下さい。

宍倉：注文住宅を建てたいと思っていて探しているとき「埼玉で家を
建てる」という冊子で見つけました。私は川口市出身で、HUGHOME
さんは木曾呂で、近いなというのもあってまず話を聞きに行ったん
です。そしたら話が止まらなくて(笑)。3時間くらい話をした後に、近
くにある他のお施主さんのお宅に連れて行ってもらいました。たぶ
ん帰ったのは夜の10時くらいだったんじゃないかな(笑)

高津：その頃は事務所も小さくて、まだお客様にお見せできる施
工事例がたくさんなかったので、それまでのお客さんの家がモデ
ルルームみたいな感じでした。何十組連れて行ったかわからんない
くらい(笑)。その後、都内の見学会に来ていただいた帰りに玄関先
で「HUGHOMEさんで新築をお願いしたい」と宍倉さんから言って
いただいたんですよね。

宍倉：正直、最初の打ち合わせからもう決まっていたんですけど
ね。もう、ここだな！と。こちらが言っていることを分かってもら
えるし、お洒落だし、高津さんの熱意が半端ないなと思って。「自
分の建てた家が超好きなんだな」というのが伝わってきて、そこです
ね、僕と妻がやられたのは(笑)

高津：自然素材に囲まれて暮らすことに憧れと期待を持っていらっ
しゃったので、HUGHOMEの真新しさぎず、懐かしい感じというの
が、ご夫婦の感性にフィットしたんでしょうね。一つ一つ使う素材に
ついてご説明しながら、木の素材感と性能の高さを兼ね備えた家を
作れるというのがよかったです。

— 以前は国産のアルミ樹脂サッシをお使いでしたが、アン
ダーセンに切り替えた理由は何だったんでしょう？

高津：当時、アルミ樹脂サッシで連段窓をやっていたんですが、フ
レームのゴツさや無機質な感じが気になっていました。他のサッ
シも探していましたけど、いいものが見つからなかったタイミング
で上野住建の佐藤さんがアンダーセンを紹介してくれたんで
す。佐藤さんの仕事に対しての熱意にも感じるところがあって、
UENOさんとなら可能性の幅が広がっていくんじゃないかなと直
感的に思いました。玄関ドアや床材など欲しいものが一気に揃う
し、UENOさんの素材を使えば新しいHUGHOMEのテイストが作
れるなと思いました。だんだん、アンダーセンじゃないと嫌だと
おっしゃるお施主さんも増えてきましたね。

— サッシは建具なのでお施主さんが選ぶというのは敷居が高い
と思うのですが？

高津：窓って建物の顔みたいなもので、それによって表情が豊かに
なると思っています。人でいうメガネみたいな。アンダーセンはアメ
リカ製なので機能面がどうかなと感じていましたけど、樹脂コ
ーティングなどは意外と日本の風土に合っています。実際に使ってみ
て、メリットとデメリットを研究していくうと思っていましたが、

思った以上にメリットが多くて、今でも継続して使い続けています
ね。国産のアルミ樹脂サッシを使ったこともあるけど、日当たりが良
いところでは窓が反って隙間が出来てしまったりして、国産だから
といって、それだけすごく良いものとは限らないなと思いました。

アンダーセンの窓はアフターメンテナンスの部分でもUENOさんに
しっかり対応してもらえるので、安心して使うことができますね。素
材から人と人のつながりが生まれて、それに対してその素材のファン
も広がっていくというのが、僕の大切にしているストーリー性に
すごくフィットしているんですね。なので自信を持ってお勧めして
います。「木の窓」というのが、暮らしの豊かさにマッチしますよ
ね。え？でも本当に使えるの？みたいに感じる人もいるけれど、それ
が本当に自分の家に使えるっていう。それが豊かさですよね。



HUGHOME
DESIGN & CONSTRUCTION

有限会社 ハグホーム
HUG HOME

〒333-0831
埼玉県川口市木曾呂 976
TEL : 048-299-2055
FAX : 048-296-0180
<https://hughome.net/>
e-mail : info@hughome.net

高津久嗣
Hisatsugu Takatsu

㈲ハグホーム代表取締役。前身である㈲高津工務
店は1932年創立。2009年、以前より自社ブランド
HUGHOMEとして活動していて、お客様にも定着していた㈲ハグホームに社名変更し、代表に就任。設計から施工管理まで一貫し、造作家具
や照明プランまでトータルプロデュースする。
上質な自然素材と普遍的なデザインをミックスし
た空間はどこか懐かしい雰囲気を感じさせ、クラ
シカルなライフスタイルに合った住空間をオーダー^{メイド}で形にしている。素材・環境・性能・
デザイン、あらゆる角度から「居心地のよい自分
らしい暮らし」を追求した注文住宅を提案してい
る。2019年、DIY のできるコーヒーショップ
“FRANK COFFEE and WORKSHOP”をオープン。



光や風を通す窓としての機能だけではなくて、インテリアの一部になる。 それが「木の窓」アンダーセンの一番の魅力。

——実際の使い心地はいかがですか？

宍倉：最初は開けるときの重さにびっくりしました。今まで使っていたアルミサッシに比べて。でも断熱性が高いし、暮らしあげてみて、この窓はなくてはならない存在だと思いましたね。

——グライディングパティオドアの上のフィックスは、宍倉さんのために特注しましたよね。

宍倉：確かに、最初のプランのときはなかったですね。すごい!!

高津：アンダーセンは細かいカスタムができるのがいいですよね。掃き出しの窓って、ただ出入りするだけの窓になりがちですけど、上に欄間（フィックス）をつけてあげることで、よりインパクトが出てデザイン性が上がりますよね。

——HUGHOMEさんはデザインの特徴で連段窓をよく使われます。

高津：白くて面積が大きい外観で窓がひとつだと単調で寂しく見えてしまうので、段窓にすることによって絶妙なバランスになるんですね。ふたつあることによって、顔が引き立つというか。あとは開け方で風の送り方を考えて。

——窓のサイズや位置関係についても教えて下さい。

高津：ここは南向きですが、近くにマンションがあって目線も気になると思ったので、窓の位置をわざと少し窪ませています。天窓をつけて、室内で開放性と明るさを確保しています。実際は各部屋に600mm四方の最小限の窓しかついていません。反対にリビングは大きい窓をつけて中に引き込ませています。

——結露はしますか？

——実際住んでみてどうですか？ 今カーテンを開けてらっしゃいますが、普段もそうなんですか？

宍倉：カーテンはいつも開けて、外のことを気にせず家にいますね。

高津：ドッグランできるお庭というご希望があって、リビングのつながりにはこだわりを持っていらっしゃったので、ワンちゃんやお子さんが出入りしやすいっていうのも重要でしたね。外なんだけど、屋根があってリビングに近いテラスになっています。

——木部の塗装やフレームについていかがですか？

高津：基本的に木部は同じ色にまとめたいので、床と合わせて色を決めます。アンダーセンに合う色をブレンドして作っています。フレームは、最近フレームレスで使われる方も多いですが、僕は窓枠をつけて窓を引き立て、ほどよい存在感を出したいですね。厚みを20mmのゴツくならない程度にして、額っぽく見せているのがこだわりです。

——HUGHOMEさんの考えるアンダーセンの一番の魅力は何ですか？

宍倉：冬場の朝は寝室の窓で若干します。でもガラスの隅に水泡ができる程度なので、全然気にならないです。

——HUGHOMEさんは高所などに開口を無駄に大きくとらないですか？

高津：掃除するときに、手が届かないですよね。生活する人の暮らしをイメージして、そこは掃除が簡単に行き届くように考えて設計しています。

——HUGHOMEさんの考えるアンダーセンの一番の魅力は何ですか？

高津：光や風を通す機能だけではなくて、アンダーセンはインテリアの一部になるんです。それがあるだけで、イコール、お洒落、豊かさ、温もりとか、そういうものが全部が伝わってくる窓ですね。海外の住宅を見ると、窓の存在感があるなと思いますよね。家具を取っ払ったときに残るのは窓と壁と天井と床なので、窓のデザイン性は重要なんだと思います。あと樹脂被覆も決め手ですね。日本は雨が多いですが、樹脂被覆ならメンテナンスをしなくてよいので。網戸も外しやすいし、標準装備でついているのがいいですよね。

HUGHOME

設計施工：HUGHOME





品番もサイズも変わらず、クレームもないから、長く使っていてストレスを感じないアンダーセン。

Interview

ハプティックハウス 長尾さん × お施主様 池谷さん インタビュー

——ハプティックハウス長尾さんと池谷さんの出会いについて教えて下さい。

池谷：カフェで働いているときに、長尾さんがお客様としていらして。共通の知人もいて。

長尾：お洒落な人が集う、文化を発信しているカフェだったんだよね。

——家を建ててから6年くらいだそうですが、住んでみてどうですか？ 1階が全部土間になっていて、変わったつくりですよね？

池谷：とても快適です。土間のつくりは、長尾さんじゃないとできない面白さだと思います。友達が毎週ここに集まって、ご飯を食べています。

長尾：料理がお好きで、ここで梅干しをつけたり味噌を仕込んだりするスタイルだから、土間の方が使いやすいよね。お友達も多いから、集まりやすいしね。土足だと入りやすいんだよね。

——UENOと長尾さんのお付き合いはとても長くて。1997年当時のカタログを今もお持ちなんですね。事務所にうかがったときにボロボロのカタログがあって驚きました。

長尾：すごい古いですよね。23年くらいかな。埼玉で大工として働いていたときに、その工務店がアンダーセンを使っていたのをおぼえています。古いカタログだけどサイズとか本質的なところが変わっていないから使いやすい。養生テープで止めて使っていますよ(笑)

——アンダーセンの良いところはどんなところでしょうか？

長尾：ずっとアンダーセンを使っていますね。国内メーカーのサッシ



HAPTIC HOUSE

ハプティックハウス HAPTIC HOUSE

〒412-0045
静岡県御殿場市川島田 1706-6
TEL : 0550-70-6660
FAX : 0550-70-6650
<http://www.haptichouse.com/>

長尾 隆行
Takayuki Nagao

1974 年静岡県御殿場市生まれ。大学卒業後、群馬・埼玉のハウスメーカーに勤務。
2000 年から 7 年間、株式会社アンドガーデン（群馬）で主任デザイナーを務める。
2007 年、御殿場にて HAPTIC HOUSE をスタート。HAPTIC（ハプティック）とは「触感・触り心地」を意味し、素材感を大切にした家づくりを心掛ける。土、石、木、鉄、タイルなどの素材をふんだんに使い、気密性、断熱性にもこだわった、居心地の良い空間を生み出す。

長尾：早いんだよ！5～6年くらいで変わりますね。網戸とかも付けられなくなることもあるし。アンダーセンは変わらないからいいですよ。

池谷：へー、ずっと同じなのですね。すごい。

長尾：輸入サッシってクレームが多いイメージだったんだけど、それは昔の安い輸入住宅をキットで持ってきて、現地の安いサッシを入れていたからだったんだよね。アンダーセンはアメリカでも高級グレードのサッシなので、クレームは少ない。いいものはいいんだよね。アメリカって訴訟の国だから、変な作ってたらすぐ潰れちゃうもんね。



—フレームに色をつけたり、額縁をつけたりされる使い方が多いですね。

長尾：お客様に合わせて、ですね。この家は和っぽいイメージだったので、デコラティブというよりフラットですね。アンダーセンはお客様の好みに合わせて変えられるのがいいですね。

—開き方やサイズを選ぶ基準は何かありますか？

長尾：お客様と打ち合わせをするんだけど、キッチンやカウンターの先にある窓はオーニングかケースメントにしていますね。上げ下げ窓はちょっと距離があると上げにくいんだよね。廊下の窓とかは上げ下げでもいいよね。近づけるかどうかがポイントかな。あとは換気メインで、小雨でも窓を開けっぱなしにしておきたいという場合はオーニングを勧めたり。ちなみに我が家はずっと開けっ放し。奥さんがママじゃないから絶対閉めないなと思って、雨降っても平気なように(笑)。風を取り込みたい人にはケースメントをお勧めしてるな。

池谷：私これ好き！掃除がしやすい。ケースメントは直角に開くから室内にいながら、両方拭けるのが良いですよね。

—結露はしますか？

池谷：全然ないです。

長尾：結露しないんだもん、すごいよね。結露しないから木でもいいんだって。カビないし。お客様以外の人は結露しないって言っても信じてくれないんだよね。結露は普通で、新築のときは綺麗だけど、どうせあとでカビるんでしょって思って見てるよ(笑)。それに外側が樹脂でコーティングされているのもいいよね。外側も木の窓だと数年おきに塗り直しするとか大変だもんね。

—外観においてアンダーセンはどうに考えていますか？

長尾：ここはガルバリウムの黒の外壁に、白のアンダーセンを入れているんだけど、落ち着いて見える。最近は色を選べるから、黒がいいなとかサンドトーン色がいいなとかお客様はなっちゃうんだけど、白の良さを地道に普及している感じ。窓がピッタリ際立って、それはそれで可愛さにつながるので。「白じゃないの選べませんか」というお客様にはなるべく時間を割いています。外壁のイメージがすでにできている人は色を選ぶのもいい

けど、悩んでるんだったら、白かな。「サッシを目立たせる」っていうのもいいと思うんだよね。屋根の破風板も比較的白を勧めていて。外壁と一緒にとか、日本人ってなんでも揃えたがるんだけど(笑)。あと見た目でいうと、アンダーセンはカーテンが痛みにくいでいるのも大きいんじゃないかな。(他社と比較して)トリップルガラスでもアルゴンガスじゃなくて空気が入っているのはカーテンが焼ける。カーテンって劣化するイメージがあったけれど、アンダーセンを使っているお宅のカーテンは全然劣化しないんですよ。

PHOTO

HAPTIC HOUSE

設計：ハプティックハウス



HAPTIC HOUSE SHOWROOM



HAPTIC HOUSE SHOWROOM

Design

デザイン

アンダーセンの窓は外観やお部屋のイメージに合わせて、ハンドルの形状や色を自由にお選びいただけます。また、窓自体を組み合わせて、他にはないオリジナルの窓を作ることも可能です。開閉方法もさまざまなスタイルがあり、外観や生活スタイルに合わせてお選びいただけます。

A:EXTERIOR 外観デザイン



樹脂カラー

外装樹脂カラーは全7色から選択が可能です(400シリーズ)。自然に溶け込むカラーリングをベースにカラーセレクトを行っています。



フレームデザイン

外側は木材を樹脂で被覆しているため木製フレームが永く安定的に保たれます。樹脂サッシに比べ、フレームがスリムな仕上がりでスッキリとした見た目になります。

B:INTERIOR 内観デザイン

木部の素材は「ポンデローサパイン」の無節を使用。未塗装品のため、オイル仕上、ペイント仕上などデザイン、使用場所に合わせて塗料を選択してください。



Combination

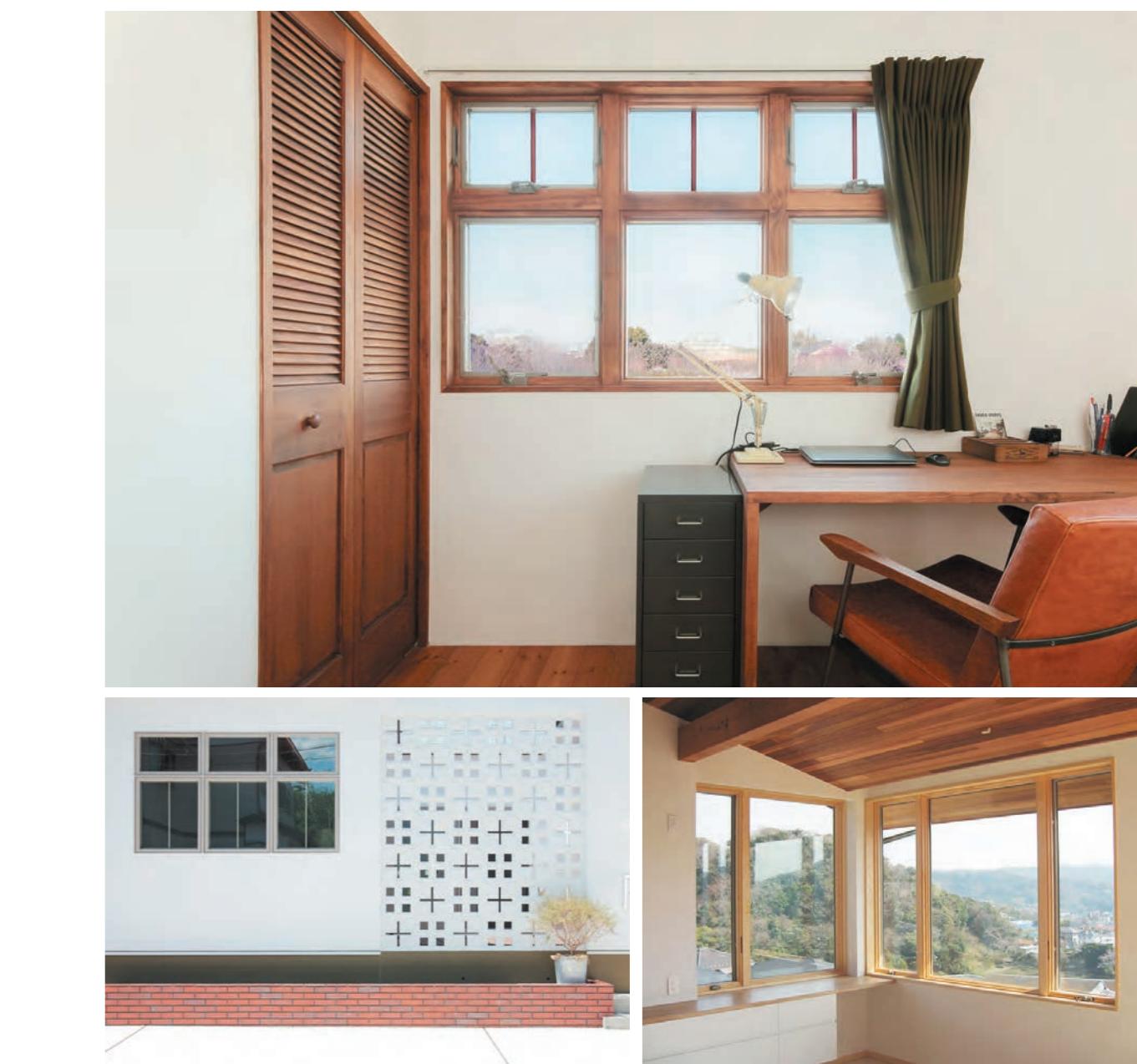
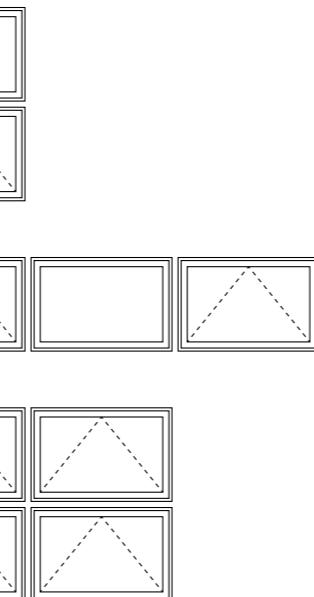
連段窓

アンダーセンコンビネーション

専用部材を使用した連段窓が可能です。幅、高さを組み合わせて他にはないオリジナルのサッシにすることができます。連段窓サッシは存在感があり、インテリアのアクセントとなります。

パターン例

※開閉するサッシと、FIXサッシの組み合わせは変更可能です。



Grille

格子

インテリアのアクセントに
格子を組み合わせることも可能です。
格子パターンにはさまざまな形状があります。



木製格子

室内から取付をする木製格子。
外部は、サッシ外観色と同色。
室内側は、メープル無塗装。

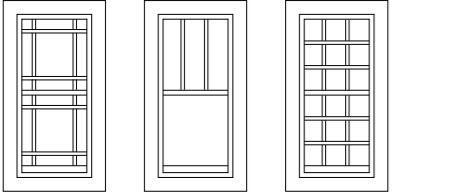
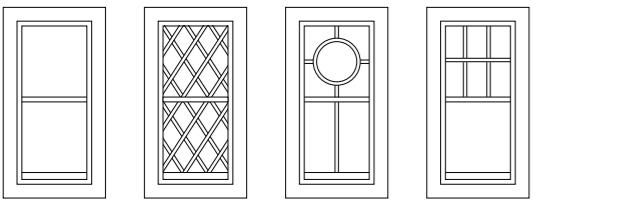


ファインライト格子

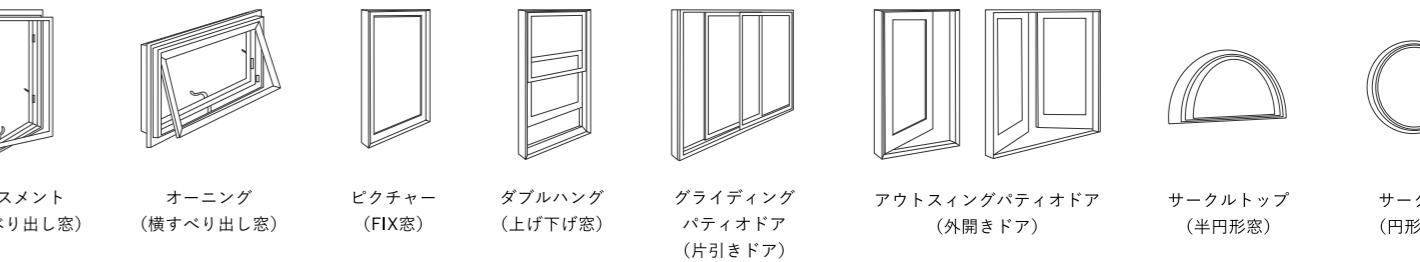
ガラスとガラスの間に樹脂
格子があらかじめ入っている。



格子デザインバリエーション



開閉方法



400シリーズ

series

200シリーズ

series

A series

シリーズ紹介

アンダーセン社で最もコストパフォーマンスに優れたシリーズ。
上げ下げ窓、片引きドアの2つの開閉パターンの選択が可能です。
ガラスはLow-E・アルゴンガス入ペアガラスを標準搭載。
※一部、国内在庫もしております。

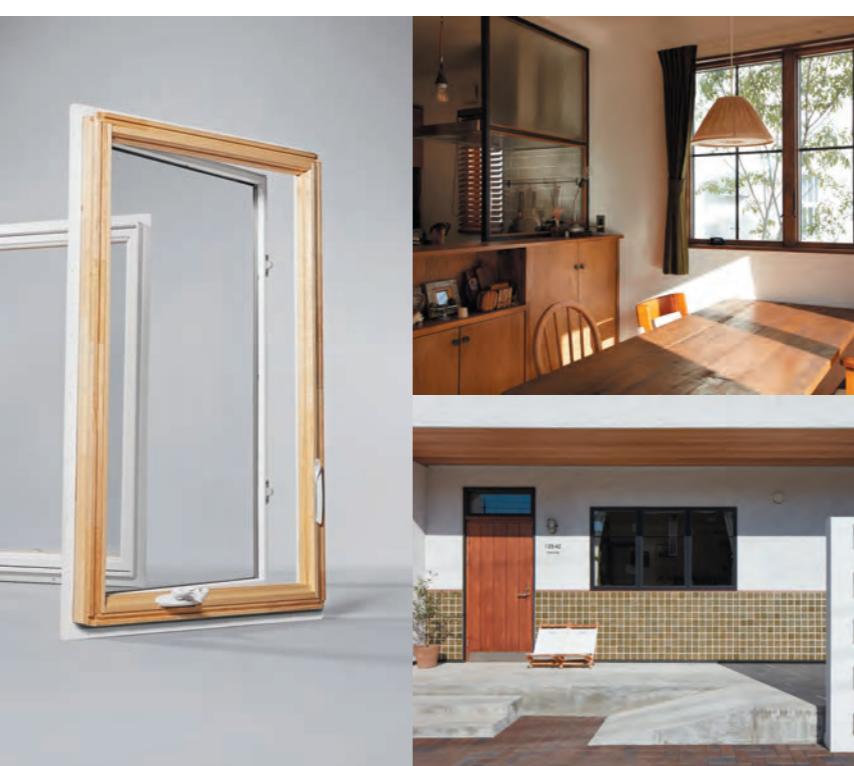
アーキテクト

アンダーセン社が、アーキテクト向けに提案を行うこだわりシリーズ。
意匠性、断熱性、気密性、水密性と全てにおいてシリーズの中でトップとなります。
日本では外開きドア、フォールディングドアをメインで取り扱っています。
※Aシリーズは受注発注品となります。詳しくはお問い合わせ下さい。



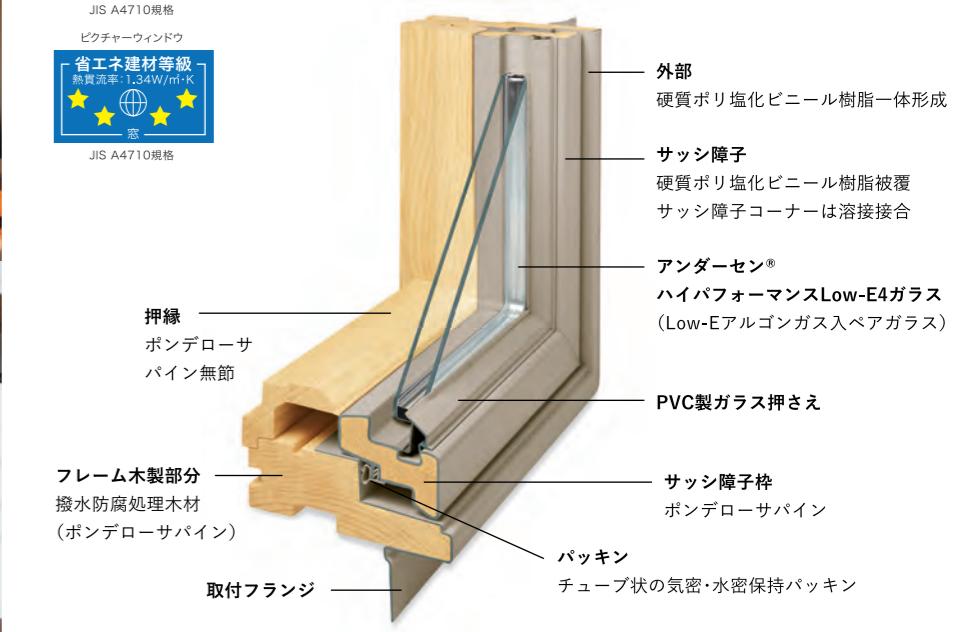
400
series

ケースメント(縦すべり出し窓)・ピクチャー 400シリーズ



ケースメント・オーニング窓
省エネ建材等級
熱貫流率: 1.62W/m²·K
窓
JIS A4710規格

ピクチャーウィンドウ
省エネ建材等級
熱貫流率: 1.34W/m²·K
窓
JIS A4710規格



DETAIL



延長桿

壁厚に合わせた延長桿があります。
116mm/133mm/167mm/181mm



ハンドル

標準ハンドル: クラシックシリーズ (ストーン色)
室内側からハンドルを回して開閉操作します。



ロック

レバーを上げ下げすることでロック開閉を行います。ロックすることで気密を保持できるシステムとなります。



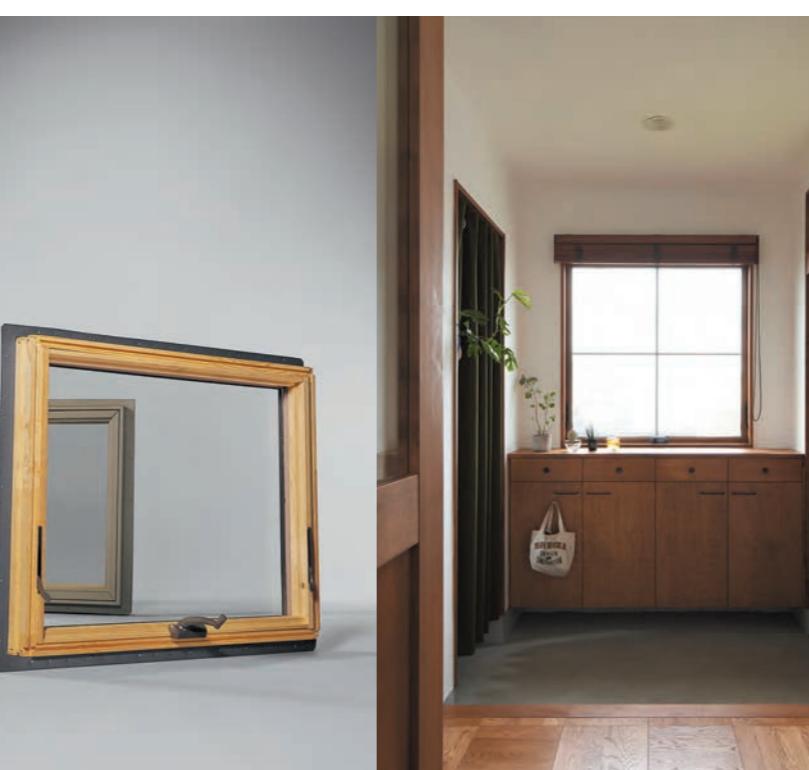
網戸

室内側にアルミニウム製網戸が付きます。左右のツマミを外し、簡単に取り外しが可能です。



才
40

ーニング(突き出し窓)・ピクチャーシリーズ



長枠があります。
67mm/181mm

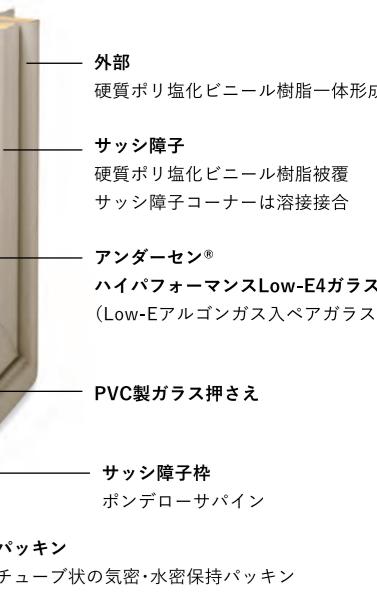


ラシックシリーズ（ストーン色）
ドルを回して開閉操作をします。



下げすることでロック開
。ロックすることで気密
システムとなります。

室内側にアルミニウム枠を設けます。左右と上部を内側に仕上げ、簡単に取り外しが可能。



400
series

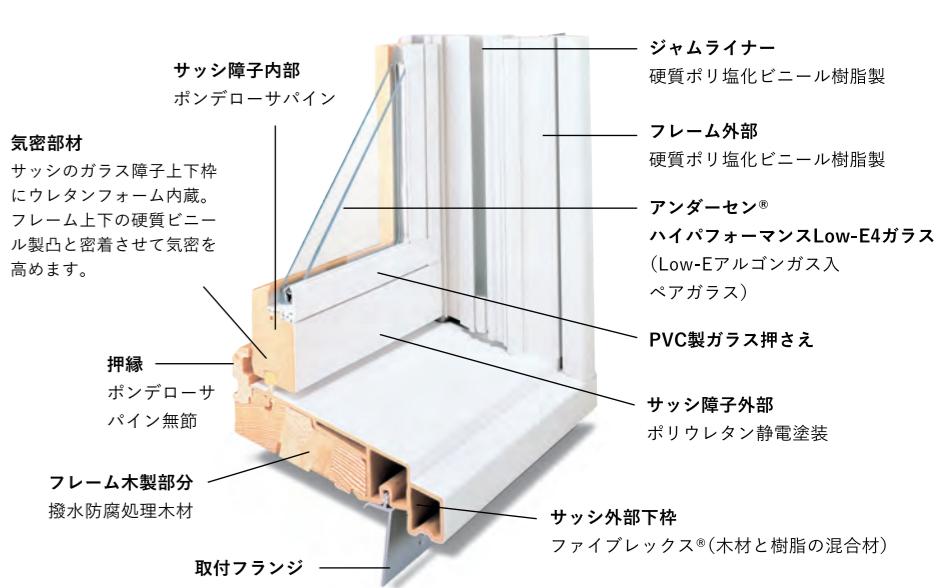
ティルトウォッシュダブルハング(上げ下げ窓)
400シリーズ



34



TWダブルハング窓
省エネ建材等級
熱貫流率: 1.79W/m² K
JIS A4710規格



DETAIL



延長棒

壁厚に合わせた延長棒があります。
133mm/167mm/181mm



ロック

標準サッシロック:ストーン色
ロックすることで気密を保持できるシステムとなります。



ティルト機能

上下のサッシ障子を室内側に倒すことができます。それにより室内から外側のガラス外側の掃除ができるシステムとなります。



網戸

室外側に、アルミニウム製網戸が付きます。フレームは外観カラーと同色となります。

200
series

ティルトウォッシュダブルハング(上げ下げ窓) 200シリーズ



DETAIL



延長桿

壁厚に合わせた延長桿があります。
133mm/167mm/181mm



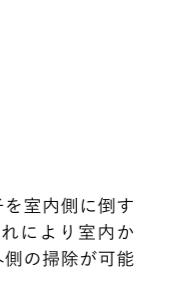
ロック

標準サッシロック:ストーン色
ロックすることで気密を保持できるシステムとなります。



ティルト機能

上下のサッシ障子を室内側に倒す事ができます。それにより室内から外側のガラス外側の掃除が可能となります。



網戸

室外側に、外観カラーと同色の網戸が付きます。フレームはアルミ製、メッシュ部分は樹脂製となります。





400
series

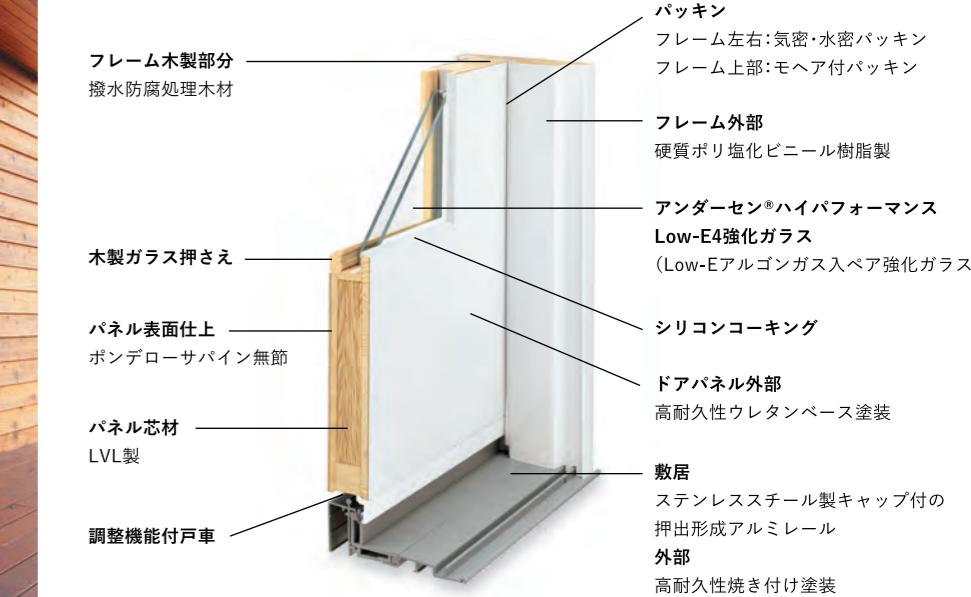
フレンチウッドグライディングパティオドア(片引きドア) 400シリーズ



フレンチウッドグライディングパティオドア
省エネ建材等級
熱貫流率: 1.72W/m²K
窓
JIS A4710規格



JIS A4710規格



DETAIL



ハンドル

標準ハンドル: トライベッカ
(ホワイト色 / ストーン色)



網戸

外部に高耐久性のグラスファイバー製メッシュ網戸がつきます。
フレームは焼付エナメル塗装されたアルミニウム製となります。



室外ロック(オプション)

敷居とドアパネルを固定させるロックです。より防犯性能を高めることができます。



アグジュアリーロック(オプション)
敷居とドアパネルを固定させるロックで、より防犯性能を高めることができます。



アグジュアリーロック(オプション)
敷居とドアパネルを固定させるロックで、より防犯性能を高めることができます。



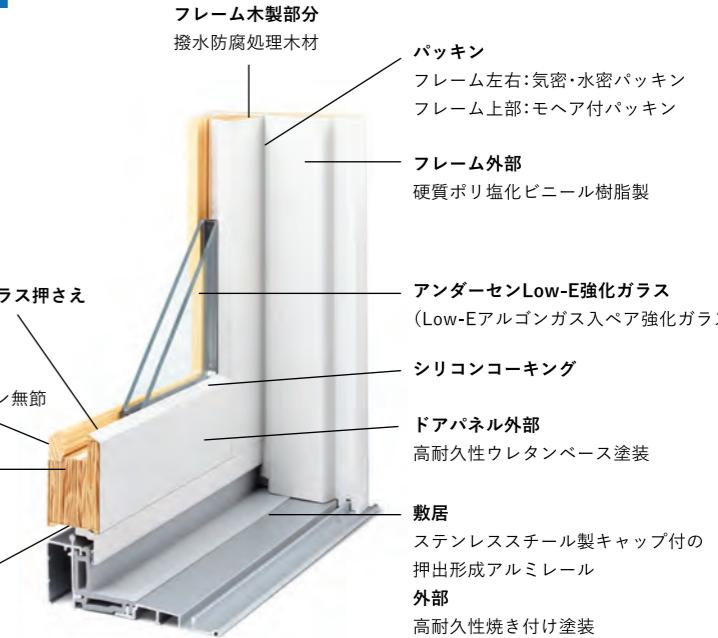
200
series

ナローラインライディングパティオドア(片引きドア) 200シリーズ



ナローラインライディングパティオドア
省エネ建材等級
熱貫流率: 1.79W/m²K
★★★ ★
JIS A4710規格

窓



DETAIL



ハンドル

標準ハンドル: トライベッカ
(ホワイト色 / ストーン色)



網戸

外部に高耐久性のグラスファイバー製メッシュ網戸がつきます。
フレームは焼付エナメル塗装されたアルミニウム製となります。



室外ロック(オプション)

敷居とドアパネルを固定させるロックです。外部キーで施錠、開錠が可能となります。



アグジュアリーロック(オプション)

敷居とドアパネルを固定させるロックです。より防犯性能を高めることができます。





42

200
series

パーマシールドグライディングパーティオドア(片引きドア) 200シリーズ



DETAIL

**ハンドル**

標準ハンドル:トライベッカ
(ホワイト色 / ストーン色)

**網戸**

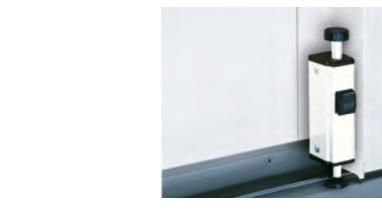
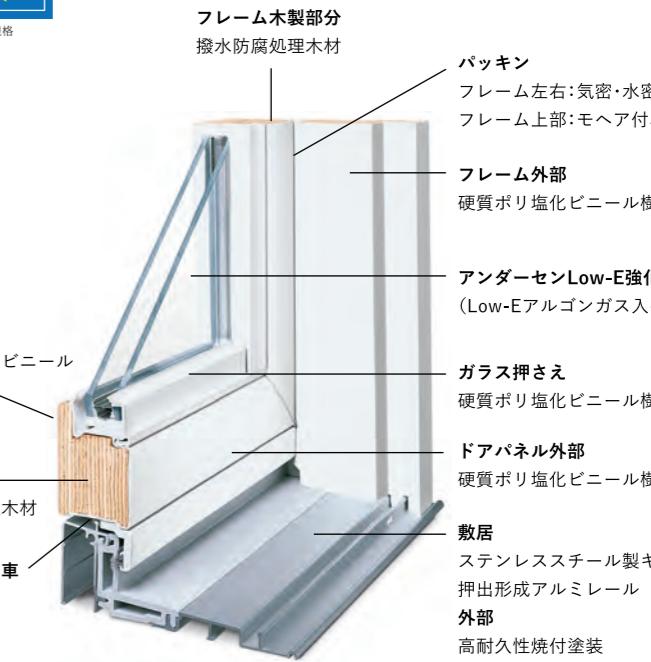
外部に高耐久性のグラスファイバー性メッシュ網戸がつきます。
網戸フレームは焼付エナメル塗装されたアルミニウム製となります。

**室外ロック(オプション)**

外部キーで施工、開錠が可能となります。
敷居とドアパネルを固定させるロックです。より防犯性能を高めることができます。

43

パーマシールドグライディングパーティオドア
省エネ建材等級
熱貫流率:1.51W/m²K
★★☆☆☆ (窓)
JIS A4710規格

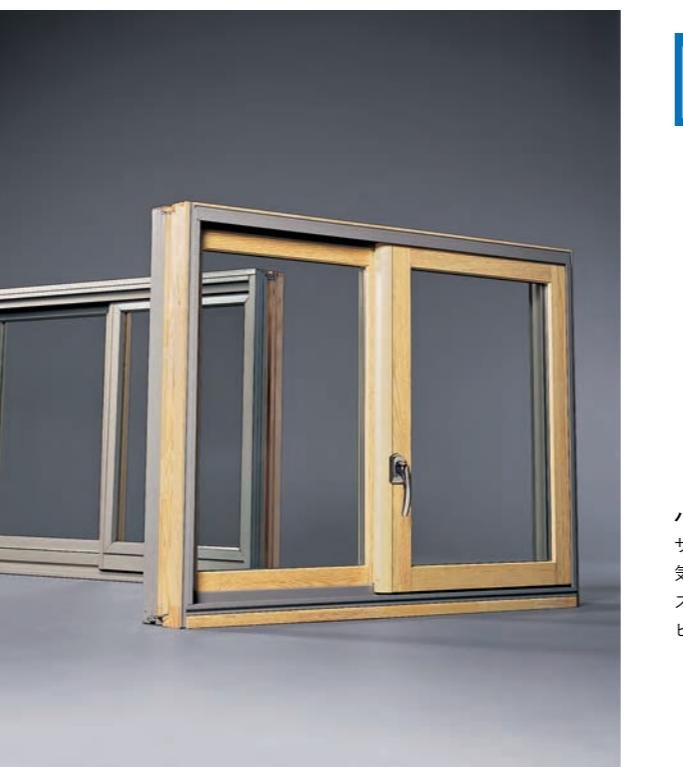


アグジュアリーロック(オプション)
敷居とドアパネルを固定させるロックです。より防犯性能を高めることができます。



400
series

グライディングウィンドウ(引き違い窓) 400シリーズ



DETAIL



レール

テフロン加工のデルリン製滑車を使用。
この滑車により窓の気密性が保たれます。



網戸

外部にアルミ製網戸がつきます。
ハンドル操作で窓の開閉とロックを行います。



レバーハンドル

標準ハンドル:トライベッカ(ストーン色)
受動ハンドル(オプション)
受動サッシの開閉がスムーズになります。



受動ハンドル(オプション)

受動サッシの開閉がスムーズになります。





A
series

フレンチウッドアウトスイングパティオドア(外開きドア) Aシリーズ



フレンチウッドアウトスイングパティオドア
省エネ建材等級
★★★★★
熱貫流率: 1.72W/m²·K
JIS A4710規格

DETAIL



ハンドル
標準ハンドル:トライベッカ
(ホワイト色/ストーン色)



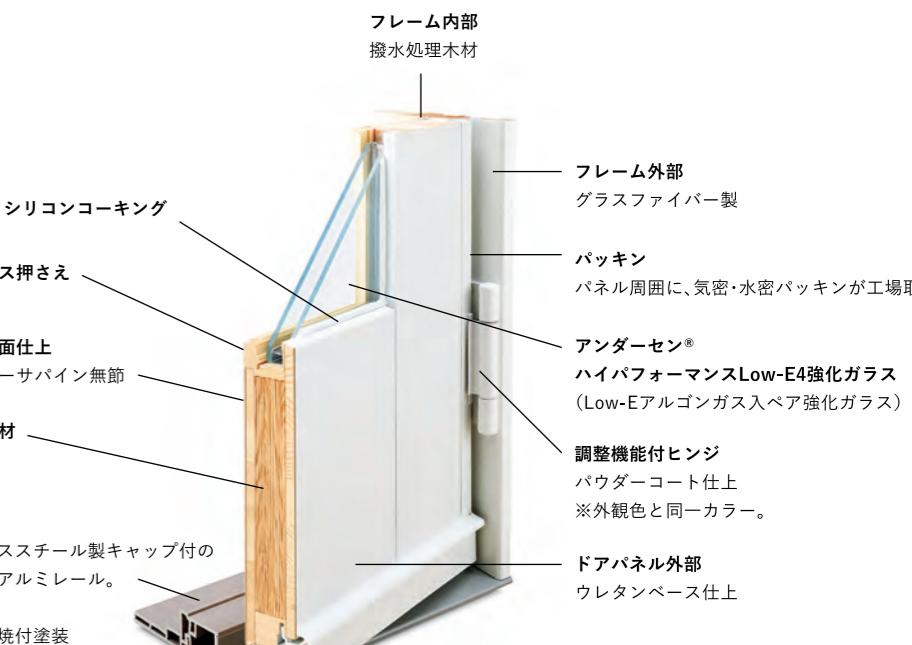
シルステップ
室内側には木製敷居(メープル)
(ホワイト色/ストーン色)
が付きます。



室外ロック(オプション)
外部キーで施錠、開錠が可能と
なります。



マルチポイントロック(特許)
防犯性能の高い3点ロック式と
なります。



フレーム内部
撥水処理木材

フレーム外部
グラスファイバー製

パッキン
パネル周囲に、気密・水密パッキンが工場取付

アンダーセン®
ハイパフォーマンスLow-E4強化ガラス
(Low-Eアルゴンガス入ペア強化ガラス)

調整機能付ヒンジ
パウダーコート仕上
※外観色と同一カラー。

ドアパネル外部
ウレタンベース仕上

シリコンコーキング

木製ガラス押さえ

パネル表面仕上
ポンデローサパイン無節

パネル芯材
LVL製

敷居

ステンレススチール製キャップ付の
押出形成アルミレール。

外部
高耐久性焼付塗装



フレーム外部
グラスファイバー製

パッキン
パネル周囲に、気密・水密パッキンが工場取付



シルステップ
室内側には木製敷居(メープル)
(ホワイト色/ストーン色)
が付きます。

47



A
series

フォールディングアウトスイングパティオドア (折りたたみドア)

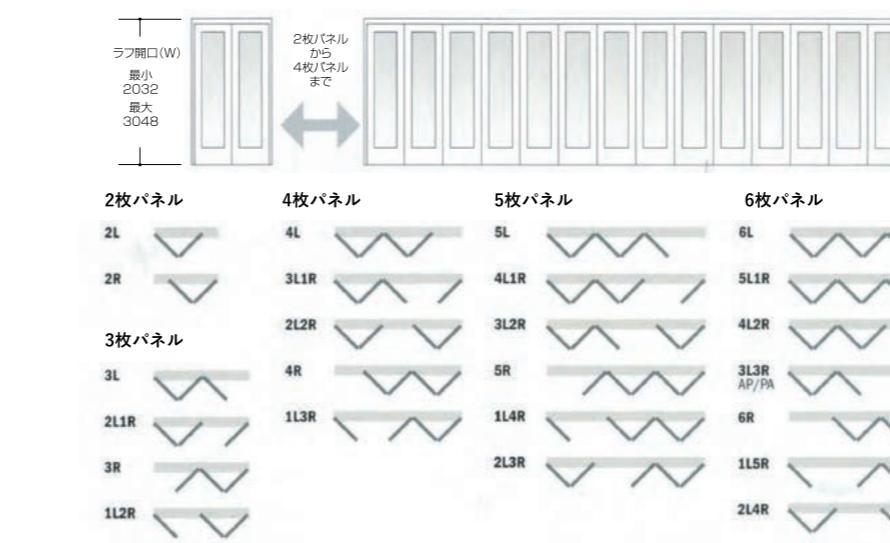
Aシリーズ

パネルサイズとレイアウト

サイズは標準サイズから特注では14mの幅までのオーダーが可能です。
操作も左開閉・右開閉・両開き等お好みのスタイルをお選びいただけます。



仕様規定による



※一例です。お好きなレイアウトをお選びください。



DETAIL

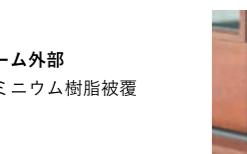


フレーム外部

アルミニウム樹脂被覆

内部

ポンデローサ
パイン無節



ハンドル、ロック



ハンドル、ロック

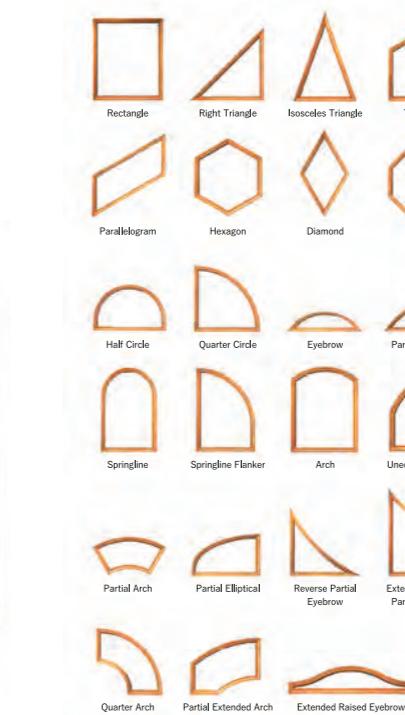
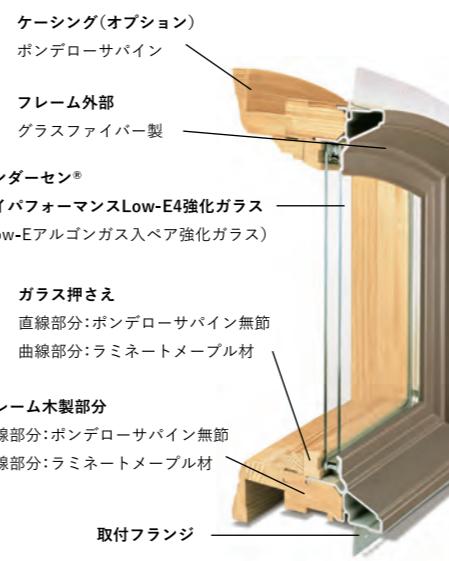


400
series

スペシャリティウィンドウ（特注サイズ、円形窓、半円形窓） 400シリーズ

カスタムオーダー

大開口FIX、屋根勾配に合わせた三角形や台形、アーチ形状など、
サイズ、形状をカスタムオーダーできます。



スペシャリティーウィンドウ

省エネ建材等級
熱貫流率: 1.62W/m²K
★★★★空

JIS A4710規格

400 シリーズ

スペシャリティーウィンドウ

省エネ建材等級
熱貫流率: 1.62W/m²K
★★★★空

JIS A4710規格

スペシャリティーウィンドウ

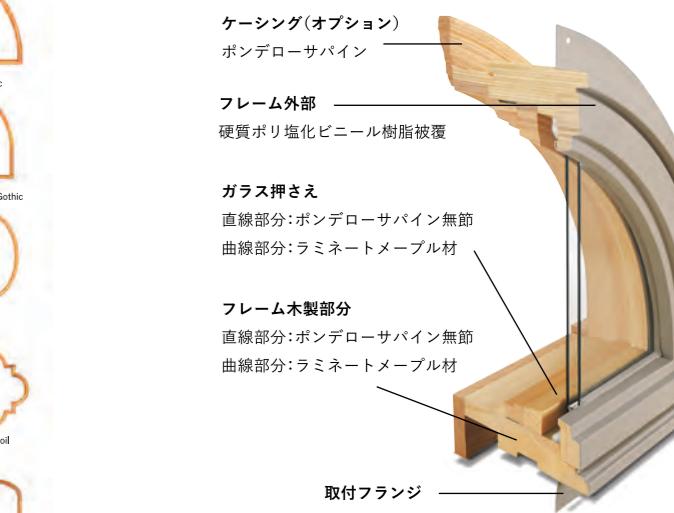
省エネ建材等級
熱貫流率: 1.62W/m²K
★★★★空

JIS A4710規格



円形・半円形規格品

円形・半円形の窓を規格品の中から選択できます。



円形窓

サークル
オーバル

半円形窓

サークルトップ／クォーターラウンド
エリプティカル

400
series

ボウウィンドウ(弓形出窓)・ベイウィンドウ(台形出窓) 400シリーズ

ケースメント・ダブルハング(400シリーズ)・ピクチャーを純正の部材を使用して出窓にすることが可能です。



30°Cケースメント
ベイウィンドウ

45°Cダブルハング+FIX
ベイウィンドウ

30°Cダブルハング
ベイウィンドウ

ケースメント
ボウウィンドウ



400
series

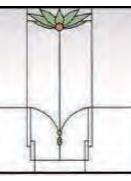
アートガラス 400シリーズ

装飾により住空間に美しさと華やかさを与えることができます。



アンダーセンオリジナルアートガラス デザイン

クラシックシリーズ



ビクトリア

ロータス

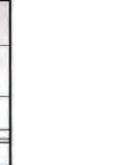
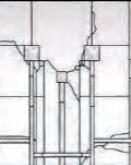
リージェンシー

ダイアモンドライト

タオ

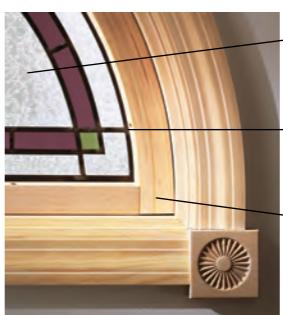


アルチザンシリーズ



ハーモニクス

アフィニティ



窓の種類、サイズに合わせて、
様々なデザインを選択できます。

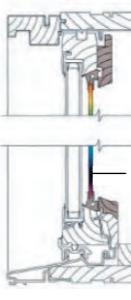
モール(棟)

スチール強化亜鉛合金製

ガラス押さえ

直線部分:ポンデローサパイン無節

曲線部分:ラミネートメープル

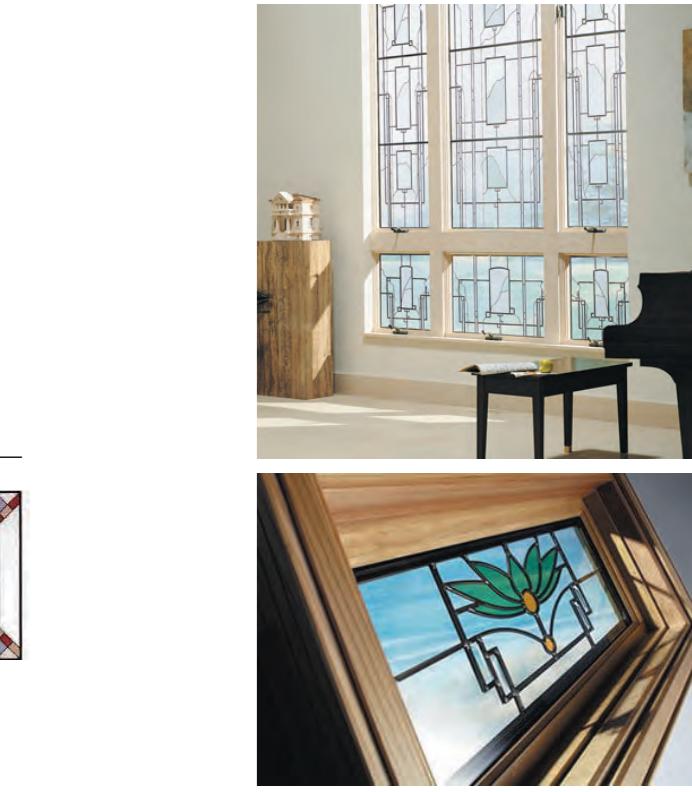


施工済の窓にも取り付ける事が可能です。

セット内容

アートガラスパネル・取付用クリップ・
木製ガラス押さえ・取付ビス・取付説明書(英語)

アートガラス



400 series

200 series

Patio Door hardware

ハードウェア
Window Hardware

アンダーセンはどんな建築にも合うように、さまざまな仕上げのハンドルや金物を提供しています。
※ハンドル画像は太文字色です。



400 series 200 series ティルトウォッシュダブルハング
| 金具(サッシリフト)



トラディショナル
ストーン / ホワイト / ブラック / ブライトプラス /
アンティークプラス / ブラッシュクローム / サテンニッケル /
オイルラブドブロンズ / ポリッシュクローム /
ディストレスブロンズ / ディストレスニッケル / ゴールドダスト

400 series

ケースメント・オーニング | ハンドル



標準セット
(クラシックシリーズ・ストーン色)
ストーン / ホワイト

**エステート**

ブライトプラス / アンティークプラス /
ブラッシュクローム / ディストレスブロンズ /
ディストレスニッケル / オイルラブドブロンズ /
ポリッシュクローム / サテンニッケル

**コンテンポラリー**

(折りたたみ式)
ストーン / ホワイト / ブラック /
ブライトプラス / アンティークプラス /
ディストレスニッケル / オイルラブドブロンズ /
ゴールドダスト / サテンニッケル

**トラディショナル**

ストーン / ホワイト / ブラック /
ブライトプラス / アンティークプラス /
ディストレスブロンズ / ディストレスニッケル /
オイルラブドブロンズ

400 series

ティルトウォッシュダブルハング
| ロック & キーパー

標準セット
(ストーン色)
ストーン / ホワイト / ブラック /
ゴールドダスト
写真はゴールドダスト色ですが、
標準セットはストーン色となります。



オプション / エステート
ブライトプラス / アンティークプラス /
ブラッシュクローム / ディストレスブロンズ /
ディストレスニッケル / オイルラブドブロンズ /
ポリッシュクローム / サテンニッケル

**コンテンポラリー**

ストーン / ホワイト / アンティークプラス /
ブラック / ブライトプラス / ブラッシュクローム /
ディストレスブロンズ / ディストレスニッケル /
オイルラブドブロンズ / ポリッシュクローム /
サテンニッケル

200 series

ティルトウォッシュダブルハング
| 金具(サッシリフト)**バーリフト****フィンガーリフト****ハンドリフト****バーリフト****フィンガーリフト****ハンドリフト****フィンガーリフト****ハンドリフト**

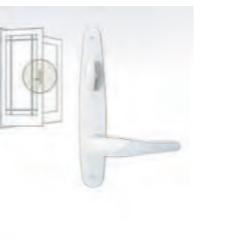
コンテンポラリー
ストーン / ホワイト / ブラック / アンティークプラス /
ブライトプラス / ブラッシュクローム / サテンニッケル /
ディストレスニッケル / ゴールドダスト / サテンニッケル /
オイルラブドブロンズ / ポリッシュクローム /
ディストレスブロンズ / ディストレスニッケル / ゴールドダスト

エステート
ブライトプラス / アンティークプラス /
ブラッシュクローム / サテンニッケル /
ディストレスブロンズ / ディストレスニッケル /
オイルラブドブロンズ / ポリッシュクローム

Patio Door hardware

パティオドア ハードウェア

※ハンドル画像は太文字色です。



標準セット
Tribeca トライベッカ

ストーン / ホワイト

**Albany アルバニー**

ストーン / ホワイト / ブラック / ゴールドダスト

**Anvers アンバース**

ストーン / ホワイト / サテンニッケル / オイルラブドブロンズ

**Encino エンチノ**

ディストレスニッケル / ディストレスブロンズ

**Yuma ユマ**

ディストレスニッケル / ディストレスブロンズ

**Newbury ニューバリー**ブライトプラス / アンティークプラス /
ポリッシュクローム / サテンニッケル / オイルラブドブロンズ**Whitmore ウィットモア**ブライトプラス / アンティークプラス /
サテンニッケル / オイルラブドブロンズ**Covington コヴィントン**ブライトプラス / アンティークプラス /
オイルラブドブロンズ

仕上げバリエーション



ホワイト ストーン サテンニッケル ブラック ポリッシュクローム アンティークプラス ディストレスニッケル ディストレスブロンズ ブラッシュクローム オイルラブドブロンズ ブライトプラス ゴールドダスト

永く愛着をもって使い続けられる木製サッシ

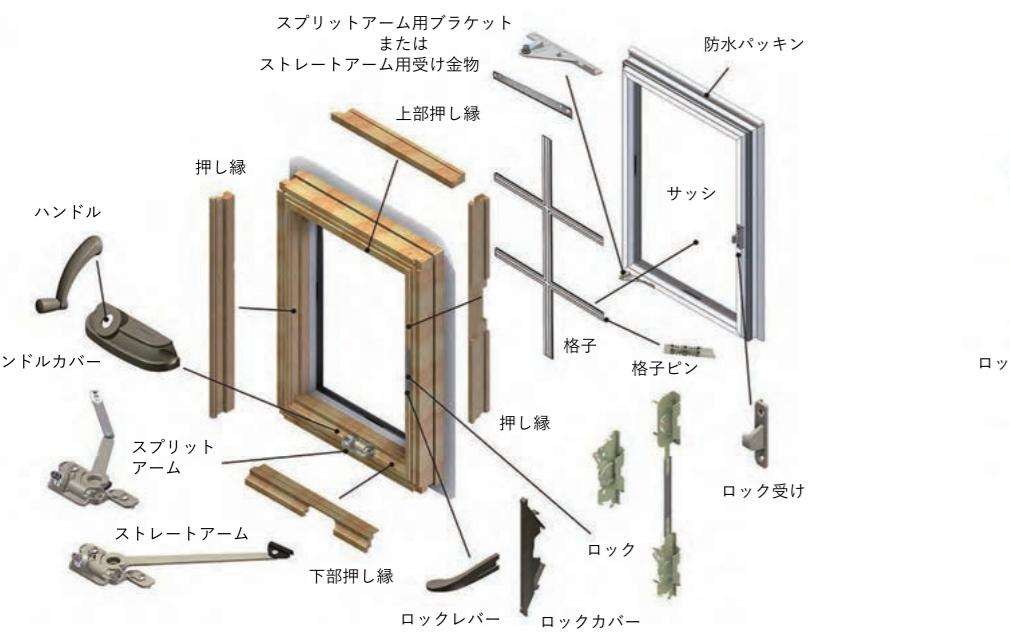
Maintenance

修理・メンテナンスができるため安心

一般的に国内サッシメーカーはモデルチェンジの周期が早く、それに伴い補修パーツが廃番になることもあります。そのため築10年後、20年後にサッシの不具合が起きたときに修理が難しくなります。

欧米ではパーツ交換を家のオーナー自身が行う慣習があり、サッシは修理して使えるように作られています。

アンダーセンでは40年以上前のサッシパーツを今でも製造し続けています。

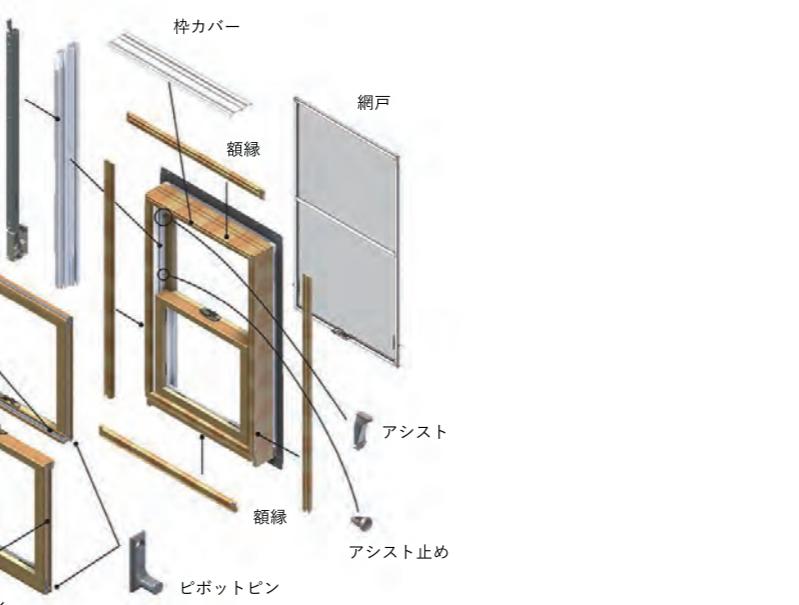


ケースメント パーツ構成

オリジナルパーツとシンプルな構造

全てアンダーセンのオリジナルパーツで構成されていて、容易にメンテナンスができるようシンプルな構造でつくられています。

アンダーセンでは40年以上前のサッシパーツを今でも製造し続けています。



ティルトウォッシュダブルハンギング(400シリーズ) パーツ構成

30年の取扱実績によるメンテナンスノウハウ

UEENOで販売してきたアンダーセンのパーツはもちろん、製造されている全てのパーツが取り寄せ可能です。数十年経った窓の部品を交換することで、永く愛着を持って使い続けられます。

メンテナンス事例 1

サッシタイプ:1989年製 ケースメントウインドウ(縦すべり窓)
症状:ハンドルをまわしても、開閉がうまくいかない。改善方法:スプリットアームオペレーターを交換する。



メンテナンス事例 2

サッシタイプ:1999年製 TW(ティルトウォッシュ)ダブルハンギング(上げ下げ窓)
症状:サッシ障子が下がってくる。または、開かない。改善方法:TWバランサーを交換する。





58



59



60



61

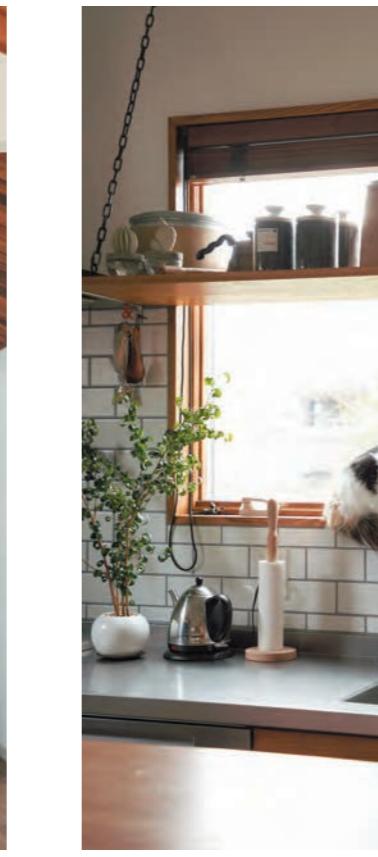
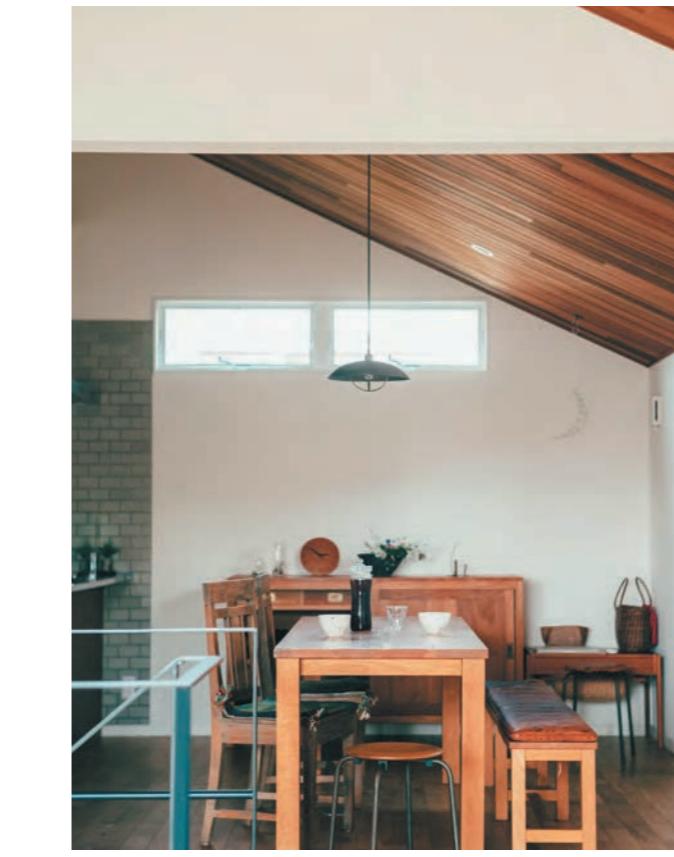
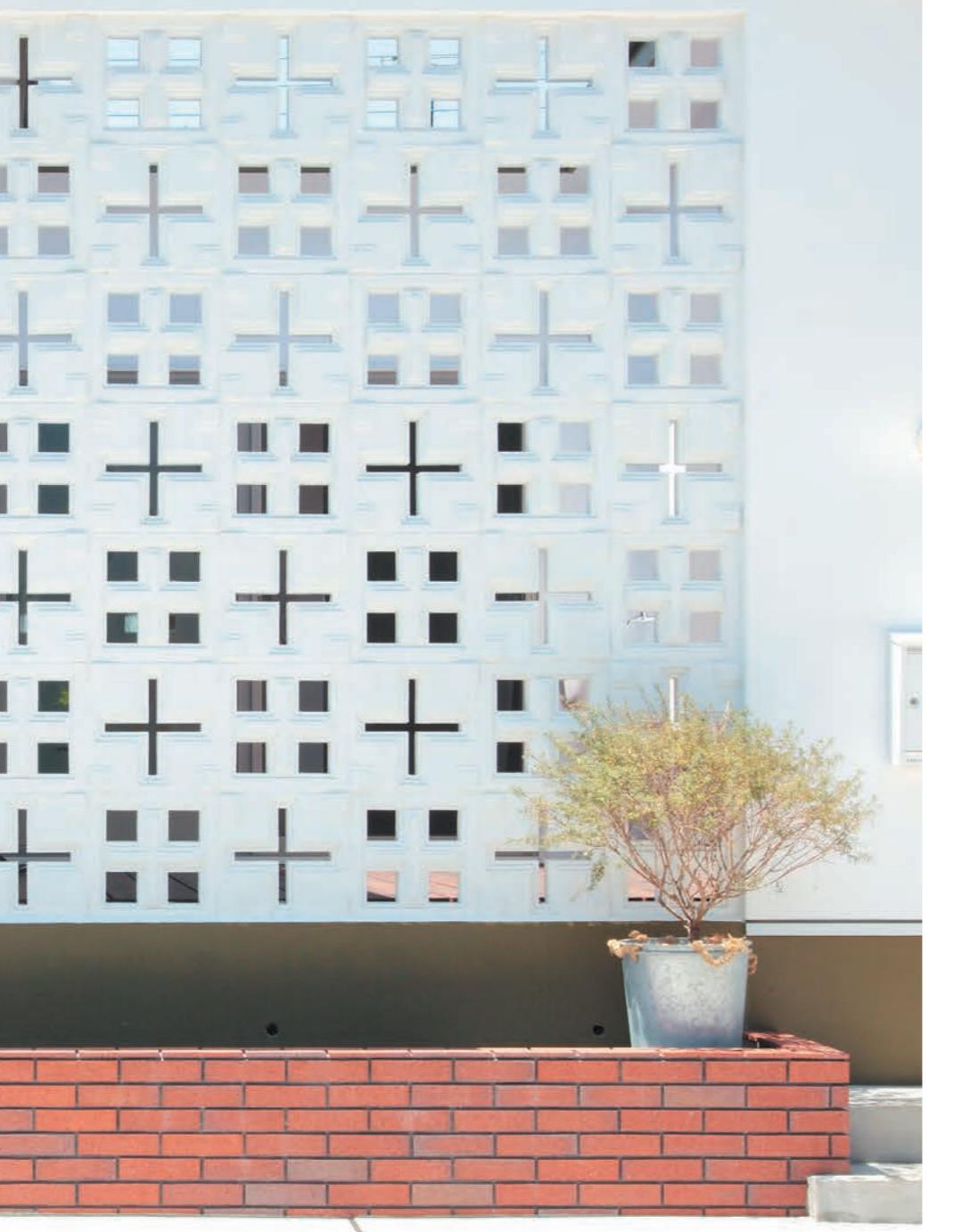
寄棟の家 | 設計施工：株式会社 Cube Design | Photo：アトリエラボン／村井勇
フレンチウッドグライディングパーティオドア（Aシリーズ）

設計施工：株式会社佐藤建設工業
ケースメント、ピクチャー、フレンチウッドアウトスイングパーティオドア



ナローライングライディングパティオドア（200シリーズ）、ケースメント、特注サイズピクチャーゲート





FLAT COURT | 設計施工 : HUGHOME | Photo : 水谷綾子
ケースメント、ピクチャーフレーム

Casa Barocco | 設計施工 : HUGHOME | Photo : 水谷綾子
オーニング、ピクチャーフレーム





EPON Golf Technical Logistics Center | 設計施工 : roomz 株式会社星野建築事務所
ダブルハング (400 シリーズ)



EPON Golf Technical Logistics Center | 設計施工 : roomz 株式会社星野建築事務所
ダブルハング (400 シリーズ)



WINERYSTAY TRAVIGNE | 設計施工 : roomz 株式会社星野建築事務所 | Photo : 渡辺琢磨写真事務所
フレンチウッドアウトスイングパティオドア



WINERYSTAY TRAVIGNE | 設計施工 : roomz 株式会社星野建築事務所 | Photo : 渡辺琢磨写真事務所
フレンチウッドアウトスイングパティオドア



アンダーセン シリーズ比較

400
series

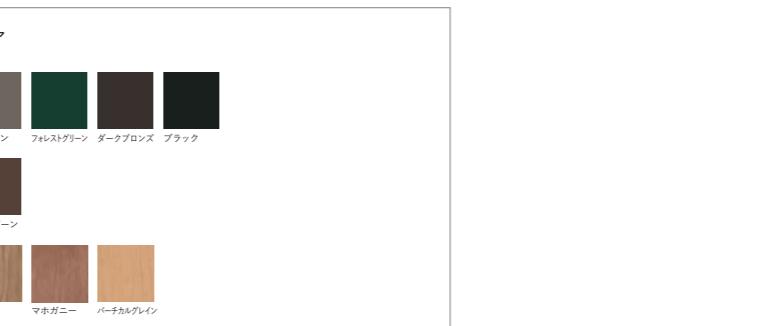
400シリーズ アンダーセン社のスタンダードシリーズ。世界で最も人気のあるシリーズとなります。窓タイプ、外観樹脂カラーが豊富で、二酸化チタン塗布のハイパフォーマンスLOW-Eガラスを標準搭載。

	C ケースメント	A オーニング	P ピクチャー	TW ダブルハング	FWG グライディングパティオドア	G グライディング
外装樹脂カラー						
内装インテリア						
ガラス	LOW-E4®	LOW-E4®	LOW-E4®	LOW-E4®	LOW-E4® 強化	LOW-E4®
断熱性能	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆
在庫	外装樹脂ホワイトのみ国内在庫	外装樹脂ホワイトのみ国内在庫	外装樹脂ホワイトのみ国内在庫	外装樹脂ホワイトのみ国内在庫	外装樹脂ホワイトのみ国内在庫	受注発注品

200
series

200シリーズ アンダーセンの中で最もコストパフォーマンスの優れたシリーズ。ガラスもLOW-Eガラスを標準搭載。すっきりとしたデザインも魅力。

	244DH ダブルハング	NLGD ナローライン グライディングパティオドア	PS パーマシールド グライディングパティオドア
外装樹脂カラー			
内装インテリア			
ガラス	LOW-E	LOW-E強化	LOW-E強化
断熱性能	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆
在庫	外装樹脂ホワイトのみ国内在庫	外装樹脂ホワイトのみ国内在庫	外装/内装樹脂ホワイトのみ国内在庫


A
series

Aシリーズ / アーキテクチャーシリーズ アンダーセンがアーキテクト向けに提案をするこだわりシリーズ。意匠性、断熱性、気密性、水密性と全てにおいてシリーズの中でトップ。

	ACW ケースメント	AAN オーニング	APW ピクチャー	ADH ダブルハング	FWGD グライディングパティオドア	FWOD アウトスウингパティオドア	AFOTD フォールディングアウト スwingingパティオドア
外装樹脂カラー							
内装インテリア							
ガラス	LOW-E4®	LOW-E4®	LOW-E4®	LOW-E4®	LOW-E4® 強化	LOW-E4® 強化	LOW-E4® 強化
断熱性能	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆
在庫	受注発注品	受注発注品	受注発注品	受注発注品	受注発注品	受注発注品	受注発注品

データ表

400
series

200
series

A
series

400シリーズ / 200シリーズ / Aシリーズ

	ケースメント	オーニング	ピクチャー	TWダブルハング	グライディング	200シリーズ ダブルハング	AシリーズFWOD パティオドア	FWGパティオドア	200シリーズ パティオドア
製造会社・製造国	アンダーセンウインドウズ・アメリカ合衆国								
区分	木造住宅用断熱型S型								
主要材料	ポンデローサパイン木製枠・外部PVCパーマシールド加工								
開閉方法	ハンドルによる縦軸回転すべり出し	ハンドルによる横軸回転すべり出し	FIX	上下スライド	引き違い	上下スライド	外開き	片引き	片引き
耐風圧	S6	S5	S7	S4	S4	S4	S6	S6	S5
気密性	A4	A4	A4	A4	A4	A4	A4	A4	A4
水密性	W4	W3	W4	W2	W2	W2	W3	W3	W3
紫外線カット率	83%	83%	83%	83%	83%	83%	84%	84%	84%
熱貫流率(W値:W/m²K)	1.62	1.62	1.34	1.79	1.9	1.9	1.72	1.72	1.79
建材試験センターJIS	※仕様規定による								
省エネ建材等級	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆
日射侵入率 (仕様規定換算値)	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
音環境性能	T1	T1	T1	T1	T1	T1	T2	T2	T1
アルゴンガス入Low-E複層ガラス組込み									
ガラス	2.2+A11.5+2.2mm		2.2 +A14.5 +3.0mm	2.2 +A11.5 +2.2mm	2.2 +A13.0 +2.2mm	2.2 +A11.5 +2.2mm	3.1+A13.0+3.1mm		

※200シリーズPSパティオドアの熱貫流率は、JISA4710規格で1.51W/m²K

※グライディングウインドウは仕様規定により1.90W/m²K

※フォールディングウインドウは仕様規定により1.90W/m²K

UENO JYUKEN

上野住宅建材株式会社

〒954-0111
新潟県見附市今町6-28-31
TEL. 0258-66-2520 FAX. 0258-66-2501
E-MAIL office@uenojyuken.co.jp
URL <http://www.uenojyuken.co.jp>

Interview Photo : 小野奈那子

2021年3月発行
発行元：上野住宅建材株式会社

